

学校名 上尾市立富士見小学校
所在地 上尾市柏座4丁目3番8号
電話 048-771-0505

1 本校の概要

本校の図書館は校舎中央に位置し、2階吹抜で書架スペースが広い。パソコン室とも行き来でき、調べ学習の拠点である。また、上尾市子ども読書支援センターが併設されている。朝読書、教職員やボランティアによる読み聞かせ、図書館イベント等多様な読書活動を進めている。

2 本校の実践

(1) 自分で本を探せる図書館づくり

ア 書店型配置から図書館型配置へ

本校児童は書店で本を探すことに慣れており、校内も人気シリーズや学習内容ごと等、別置の多い書店のような書架だった。書店に行き慣れた児童は読みたい本がすぐに見つかる利点はある。しかし、それ以外の書架にどんな本が所蔵されているのか知ることはない。進学や公立図書館を利用する際にNDC配置を知っていると非常に有用である。そこで、2階に配架されていた分類も1階に降ろし、類番号順に書架の配置を行った。

イ 図書館型配置で読書ビンゴ

マスの中に9種類の分類を指定したビンゴを児童に配付した。分類を理解して本を探すこと、様々な分類の本に触れることをねらいとした。児童は様々な分類の本を借り、ビンゴを達成した児童には、2冊貸出券を配付して読書に対する意欲を高めることができた。

(2) 種類の異なるイベントの開催

ア ポップでビブリオバトル

図書委員や教員がバトラーとなり、ビブリオバトルをポップで行った。本を借りた児童は、投票券を配付され、投票箱に入れる。チャンプ本は、カウンターに掲示し、繰り返し貸出された。チャンプ本ではない本もポップと一緒に面出し、手に取る機会が増えた。

イ クラスで天下統一

このイベントのねらいは、図書館の利用が少ない児童、本をあまり読まない児童に対して、学級で取り組む内容にすることで本に触れる機会をもたせることである。児童は、47都道府県名の指定された字から始まる本を図書館から探し、読む。本を47都道府県分全て読むと、図書館にある



富士山に旗を立てられるイベントである。学級で嬉しそうに達成を報告してくれていた。



ウ 図書委員会企画イベント

2つのイベントを企画した。1つ目は、「2月23日（富士見の日）おみくじ」である。期間中、本を借りると1回だけ引ける。おみくじには運勢と番号がついており、番号によって児童が考えた問題の紙が配られる。そこに書いてある本を読むと問題を解くことができる。2つ目は、富士見小福袋である。児童が考えた題材で本を選び、袋に入れた。数を限定し、中身が見えないようにすることで借りて読む楽しさを引き出したい。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 図書館の利用回数の増加

学級単位での図書館の利用回数が増えた。9月以外は1週間の中で1回以上学級が利用していた。

イ 貸出冊数の増加

今年度の貸出冊数を平均すると約1600冊となった。（4月～12月まで）昨年度は極端に貸出が減ってしまう時期があったが、安定した貸出を行うことができた。

(2) 課題

ア 本を使った調べ学習の周知

実践のように配置の工夫をしたが、調べ学習の際にパソコンを使用する学級が多かった。調べ方などの知識に課題があり十分に活用できていない。来年度は、調べ活動のオリエンテーションを行い、本で調べることがなぜよいのか指導していきたい。

イ 参加児童、学級のばらつき

イベントに参加する児童は、低、中学年が多く、高学年の参加が少なかった。高学年も取り組む学級もあるが、委員会や鼓笛等で休み時間の確保が難しく、個人でのイベント参加や達成が難しかった。

(3) おわりに

今年度は、二つのことに重点を置いた。一つ目は、自分で本を探せる図書館づくり、二つ目は、一人でも大勢でも読書が楽しめるようにと実践に取り組んだ。どちらも図書支援員、図書委員の協力を得て、より本で調べやすい、読書を楽しめる図書館を考えた。しかし、調べ学習での利用は不十分であるため、年間計画を見直して、富士見小図書館の特徴を生かした実践を行う。